

平成27年度

農政水産部予算の概要

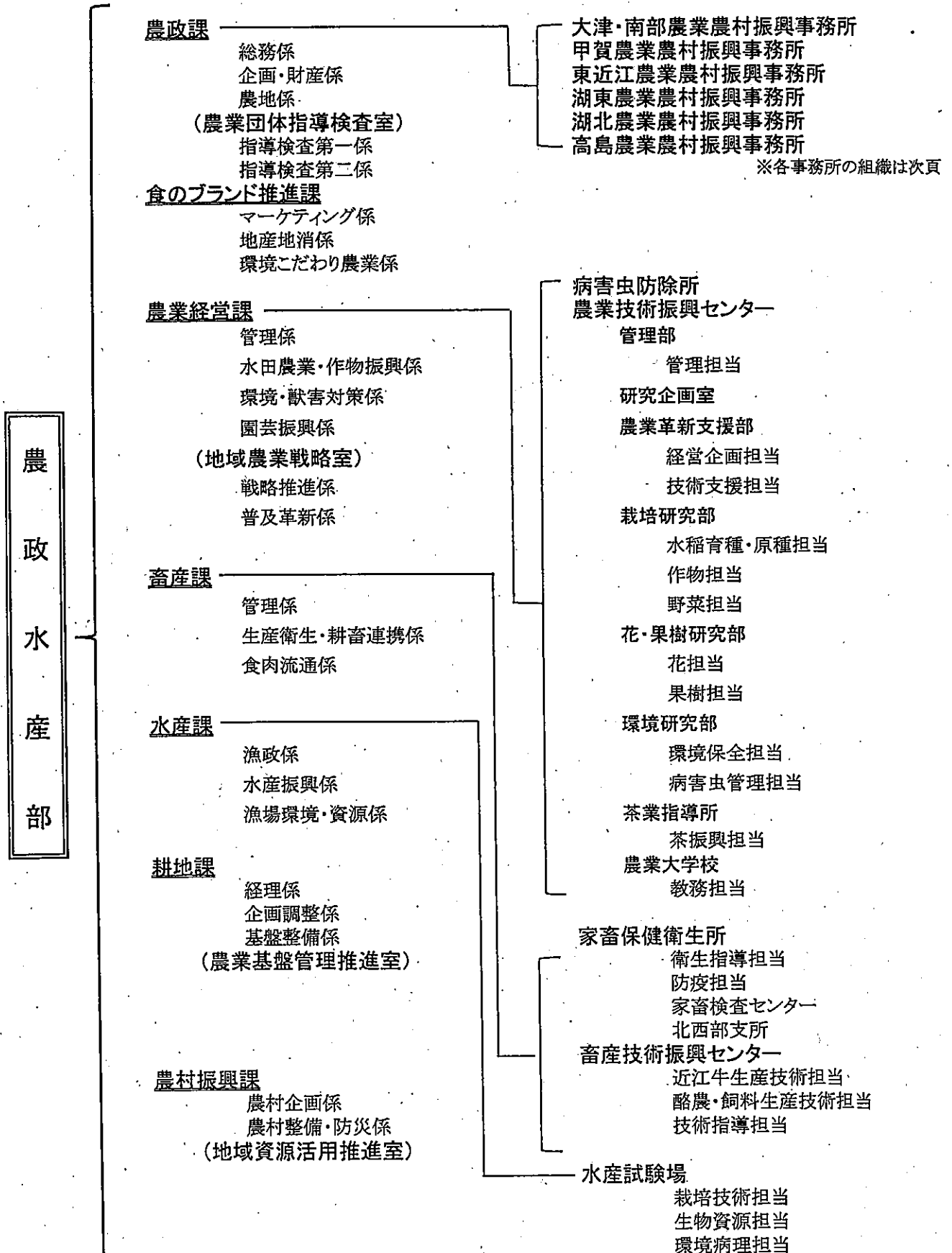
平成27年6月

農政水産部

# 行政機構

# 農政水産部行政組織

(平成27年4月1日)



**大津・南部農業農村振興事務所**

農産普及課

農業推進担当

普及指導担当

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備担当

**甲賀農業農村振興事務所**

農産普及課

農業推進担当

普及指導担当

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備第一担当

基盤整備第二担当

**東近江農業農村振興事務所**

農産普及課

農業推進担当

東部普及指導担当

西部普及指導担当

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備第一担当

基盤整備第二担当

基盤整備第三担当

永源寺ダム管理支所

**湖東農業農村振興事務所**

農産普及課

農業推進担当

普及指導担当

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備担当

**湖北農業農村振興事務所**

農産普及課

農業推進担当

普及指導担当

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備第一担当

基盤整備第二担当

**高島農業農村振興事務所**

農産普及課

田園振興課

農村振興・アセットマネジメント担当

基盤整備担当

平成27年度 農政水産部 予算額

21 一般会計

(1) 総額

単位 千円

区 分	本 年 度 予 算 額 A	左 の 財 源 内 訳									前 年 度 予 算 額 B	対前年度		
		分担金及び 負担金	使用料及び 手数料	国庫支出金	財産収入	寄 附 金	繰 入 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源		A	B	A/B (%)
農政水産部	職員給与費	4,687,643	8,016		13,292				13,565	87,757	4,565,013	4,712,555	△ 24,912	99.5
	事業費	16,333,586	800,543	12,686	8,603,067	123,648	100	2,107,716	855,309	1,411,043	2,419,474	13,271,866	3,061,720	123.1
	① 計	21,021,229	808,559	12,686	8,616,359	123,648	100	2,107,716	868,874	1,498,800	6,984,487	17,984,421	3,036,808	116.9
県	職員給与費	169,564,363	8,016	3,328,966	19,953,480			12,185	134,109	5,228,112	140,899,495	168,668,893	895,470	100.5
	事業費	368,985,637	1,492,855	3,541,778	38,099,713	626,050	57,840	12,532,684	29,663,674	40,280,588	242,690,456	346,641,107	22,344,530	106.4
	② 計	538,550,000	1,500,871	6,870,744	58,053,193	626,050	57,840	12,544,869	29,797,783	45,508,700	383,589,951	515,310,000	23,240,000	104.5

(2) 県予算額に占める農政水産部予算額の構成比(①/②)

単位 %

	計	職員給与費	事業費
本 年 度	3.9	2.8	4.4
前 年 度	3.5	2.8	3.8

## (3) 課別内訳

単位 千円

区 分	本 年 度 予 算 額 A	左 の 財 源 内 訳									前 年 度 予 算 額 B	対前年度			
		分担金及び 負担金	使用料及び 手数料	国庫支出金	財産収入	寄附金	繰入金	諸収入	県 債	一般財源		A	B	A/B (%)	
農 政 課	職員給与費	1,421,571			13,255						1,408,316	1,452,636	△	31,065	97.9
	事業費	187,788			123,947			876		62,965	243,517	243,517	△	55,729	77.1
	計	1,609,359			137,202			876		1,471,281	1,696,153	1,696,153	△	86,794	94.9
食のブランド 推進課・農業 経営課	職員給与費	1,141,490								1,141,490	1,130,995	1,130,995		10,495	100.9
	事業費	6,310,709		7,408	3,627,855	37,848		2,066,449	30,796	540,353	2,441,136	2,441,136		3,869,573	258.5
	計	7,452,199		7,408	3,627,855	37,848		2,066,449	30,796	1,681,843	3,572,131	3,572,131		3,880,068	208.6
畜 産 課	職員給与費	570,694								570,694	556,308	556,308		14,386	102.6
	事業費	920,713		3,406	26,920	73,093		3,390	354,890	32,800	426,214	794,326		126,387	115.9
	計	1,491,407		3,406	26,920	73,093		3,390	354,890	32,800	996,908	1,350,634		140,773	110.4
水 産 課	職員給与費	402,288								402,288	395,428	395,428		6,860	101.7
	事業費	718,101		1,872	260,735	10,489		15,263	20,436	168,500	240,806	767,614	△	49,513	93.5
	計	1,120,389		1,872	260,735	10,489		15,263	20,436	168,500	643,094	1,163,042	△	42,653	96.3
耕地課・農村 振興課	職員給与費	1,151,600	8,016		37				13,565	87,757	1,042,225	1,177,188	△	25,588	97.8
	事業費	8,196,275	800,543		4,563,610	2,218	100	22,614	448,311	1,209,743	1,149,136	9,025,273	△	828,998	90.8
	計	9,347,875	808,559		4,563,647	2,218	100	22,614	461,876	1,297,500	2,191,361	10,202,461	△	854,586	91.6

## 2 特別会計

単位 千円

会 計 名	本 年 度 予 算 額 A	前 年 度 予 算 額 B	対前年度	
			A - B	A/B (%)
就農支援資金貸付事業等 特 別 会 計	45,200	90,000	△ 44,800	50.2
沿岸漁業改善資金貸付事 業 特 別 会 計	60,700	58,600	2,100	103.6

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【農政課】</p> <p>農政企画調整費</p>	<p>19,119 (21,582)</p> <p>⊖ 19,119</p>	<p>1 滋賀県農業・水産業基本計画検討事業 886</p> <p>農畜水産業を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、今後の本県施策の展開方向を示す、新たな農業・水産業の基本となる計画について検討を行う。</p>
<p>【食のブランド推進課・農業経営課】</p> <p>マーケティング戦略推進事業費</p>	<p>19,811 (19,744)</p> <p>諸 100</p> <p>⊖ 19,711</p>	<p>①② 1 「滋賀の食材」大都市で魅力発信事業 8,231</p> <p>県外において、「滋賀の食材」のブランド力向上を図り、見える形で県外取扱店舗を開拓、強化を行うため、大都市圏での「滋賀の食材」全体の認知度向上を図るとともに、生産者団体間の連携を推進し、意欲ある生産者等の県外展開を支援する。</p> <p>①② 2 近江の野菜「漬物」で魅力発信事業 2,947</p> <p>伝統野菜や地域特産野菜を中心に「近江の野菜」を振興するため、これらが培われた歴史や食文化などのストーリーを色濃く反映する「漬物」に焦点をあて、食材やその食文化が持つ魅力を広くPRし、消費の拡大を図る。</p> <p>①② 3 滋賀県産農畜水産物海外販路開拓支援事業 1,807</p> <p>県産農畜水産物の輸出の現状を調査・分析し、今後の輸出戦略を構築、組織化の検討を行うことによって、自主的・積極的に県産農畜水産物の輸出に取り組む事業者を支援し、輸出の促進を図る。</p> <p>4 美味しい「食」の情報発信総合事業 4,500</p> <p>滋賀の食材のブランドイメージの向上、地産地消の進展を図るため、滋賀の食材の魅力・特徴や購入できる場所等の情報について、求められる情報をインターネットでタイムリーに発信する。</p>



事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>地産地消推進・流通促進事業費</p>	<p>18,576 (17,167)</p> <p>国 3,000</p> <p>繰 500</p> <p>○ 15,076</p>	<p>① 1 「おいしが うれしが」キャンペーン推進事業 3,800</p> <p>地産地消の推進を図るため、「おいしが うれしが」推進店への登録の呼びかけ、情報発信等を行う。あわせて、推進店を巡るラリー企画の実施により、消費者ニーズを把握するとともに、生産者と推進店の連携をより強化するための食材交流会を開催する。</p> <p>② 2 農畜水産業を通じた子どもたちへの食育の推進 4,472</p> <p>学校給食を通じて、子どもたちに県産食材のおいしさや生産者の苦勞などを伝えることにより、生産者への感謝の気持ちを育て、食の大切さへの理解を促す。 また、教材の活用等によって、子どもたちの滋賀の農畜水産業に対する理解を促進する。</p> <p>③ 3 滋賀の卸売市場活性化推進事業 500</p> <p>卸売市場等が連携して実施する、実需者のニーズと生産をつなぐ取組や、卸売市場に対する県民の理解を深める活動に対して支援を行い、卸売市場の取扱量の拡大等による活性化を図る。</p> <p>④ 4 もっと食べよう「近江米」！県民運動推進事業 4,991</p> <p>関係団体等と連携し、近江米の消費拡大に向けた県民参加の運動を展開するとともに、直売所、飲食店などに働きかけ、中食・外食での近江米の利用促進に取り組む。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
農地流動化促進対策費	3,645,872 (739,633)  国 1,575,432  財 3,788  繰 2,065,532  〇 1,120	効率的・安定的な農業経営を目指す担い手への農地の利用集積を促進する。  経1 農地中間管理事業推進費 122,244  担い手への農地集積と農地の面的集積をさらに加速するため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構の活動を支援する。  経2 農地中間管理事業促進費 2,043,824  農地中間管理機構を通じて農地の集積に協力する農業者や地域に助成を行う。
しごの担い手育成総合事業費	497,483 (547,835)  国 460,375  〇 37,108	地域農業を支える担い手の育成や新規就農者の確保対策を総合的に実施する。  新重1 「人」と「地域」が織りなす滋賀の農業・農村活力創造プロジェクト 15,169  地域農業戦略指針を活用し、集落が地域の実情に応じた今後の農業・農村の目指す姿を定め、その実現に向けた活動が行えるよう、農業者、関係者が一体となった取組を展開する。  2 しごの担い手体質強化総合支援事業費 370,571  (1) 集落営農等法人化支援事業 33,800 集落営農組織等の組織化・法人化の取組を支援する。  (2) 経営体育成支援条件整備事業 316,000 人・農地プランに位置付けられた中心経営体等の農業用機械等の導入に対し助成する。  重3 五感で感じる滋賀の農業体験事業(1団体) 1,200  若い世代に農業を体感する機会を提供し、職業選択肢としての農業への関心を高め、新規就農者の確保を図る。  4 青年農業者等育成確保推進事業費(1団体) 8,447  就農に向けて、相談から定着に至るまでの一貫した支援体制を整え、次代の優れた本県農業の担い手の育成確保を図る。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>5 新規就農者確保事業費 100,621</p> <p>(1) 準備型青年就農給付金支給事務補助金 39,027 就農予定者（45才未満）に対し、技術習得等を図る研修の期間に応じて、準備型青年就農給付金を助成する（最長2年）。</p> <p>(2) 経営開始型青年就農給付金支給事務補助金 61,494 農業経営を開始した青年就農者（45才未満）に対し、就農初期（最長5年）の経営の安定を図り定着を促進するため、経営開始型青年就農給付金を助成する。</p>
経営所得安定対策推進事業費	<p>166,363 (169,699)</p> <p>国 147,600</p> <p>○ 18,763</p>	<p>認定農業者や集落営農など担い手の農業経営の安定等を図ることを目的として実施される経営所得安定対策の円滑な推進を図る。</p> <p>1 経営所得安定対策推進事業 166,363</p> <p>(1) 県農業再生協議会事業補助金(1団体) 14,761</p> <p>(2) 市町域経営所得安定対策推進事業補助金(19市町) 150,000</p>
6次産業化ネットワーク活動事業費	<p>164,750 (27,638)</p> <p>国 164,750</p>	<p>農林漁業者と多様な事業者が連携する6次産業化ネットワーク化を促進し、経営発展や地域の活力向上を図る。</p> <p>1 6次産業化ネットワーク活動推進事業 18,000</p> <p>6次産業化を推進する体制を整備するとともに、農林漁業者が行う6次産業化ネットワークによる新商品開発や販路開拓などの取組を支援する。</p> <p>2 6次産業化ネットワーク活動整備事業 146,750</p> <p>6次産業化総合化事業計画の認定者等が実施する、農林水産物の加工・販売等にかかる施設、機械の整備を支援する。</p>
農業改良普及活動事業費	<p>5,300 (4,518)</p> <p>国 3,600</p> <p>○ 1,700</p>	<p>経産 女性のためのアグリビジネス・サポート事業 4,500</p> <p>農や食に関心のある女性を対象に、ビジネスの具体的なイメージが膨らむ連続講座を開催し、女性の感性等を活かしたアグリビジネスにチャレンジする女性の創出を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
しがの米麦大豆総合対策事業費	62,365 (60,403)  ⊖ 62,365	<p>需要に応える安全安心で高品質な「しがの米麦大豆」の生産対策と流通対策を一体的に推進し、米麦大豆の生産体制の強化を図る。</p> <p>1 しがの米麦大豆生産対策事業 17,589</p> <p>米麦大豆の栽培技術の確立や品質分析を行うとともに、米麦大豆を中心とした水田の有効活用を促進し、消費者や実需者の視点に立った生産や優れた流通につなげる取組を推進する。</p> <p><b>重</b>2 「みずかがみ」産地化スタートダッシュ事業 43,980</p> <p>県外に販路を拡大した「みずかがみ」が、消費者の信頼を得、近江米のブランド力をけん引するよう、均質で高品質な生産と県外販売に見合う流通量の確保、および認知度向上による流通販売の促進を図る。</p>
園芸特産振興対策費	49,765 (50,405)  ⊖ 49,765	<p>消費者ニーズに対応できる野菜、果樹、花き、茶等の園芸特産物の産地育成を推進するとともに、生産団体の活動を強化することにより園芸作物の振興を図る。</p> <p>1 しがの水田野菜生産拡大推進事業 33,000</p> <p>野菜を本県の水田農業における戦略作物として位置付け、水田における生産拡大を推進する。</p> <p>2 新技術で実る「しがの園芸」育成事業 6,500</p> <p>農業技術振興センターが開発・確立した技術等の組織的な導入を加速化することで、果樹・花き等園芸生産の面的な拡大を図る。</p>
獣害対策推進プロジェクト事業費	202,925 (202,925)  国 201,200  ⊖ 1,725	<p>野生獣による農作物等の被害に対し、市町や関係団体とともに、集落ぐるみによる被害対策を強力に推進し、被害の軽減と地域の活性化を図る。</p> <p>1 獣害に強い集落づくり加速化事業 202,100</p> <p>集落リーダーを中心とした持続的な被害防止活動に取り組む集落づくりを支援するとともに、市町が作成する被害防止計画に基づく活動や侵入防止施設等の整備を支援する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>環境こだわり農業推進事業費</p>	<p>605,837 (263,864)</p> <p>国 403,844</p> <p>⊖ 201,993</p>	<p>環境保全型農業直接支払交付金を活用し、環境こだわり農業の取組を支援するとともに、県内外の消費者に対して、環境こだわり農業の理念や取組についての理解促進と利用の拡大を図る。</p> <p>1 環境こだわり農業支援事業 592,561</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金 554,025 環境こだわり農業の実践に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む場合に、国、市町とともに支援を行う。</p> <p>2 環境こだわり農産物「流域まるごと」消費拡大事業 5,892</p> <p>琵琶湖・淀川流域（県内外）の消費者に対して、メディアを通じた情報発信やPR・啓発のための資材作成等を行う。</p>
<p>【農業技術振興センター】</p> <p>試験研究調査指導費</p>	<p>40,553 (40,554)</p> <p>財 22,436</p> <p>諸 1,638</p> <p>⊖ 16,479</p>	<p>生産現場で抱える課題や行政施策推進上の課題等の解決に向けた研究開発を行う。</p> <p>1 水稻等の品種改良および栽培試験 2,704</p> <p>産地間競争が激化する中で、本県の主要農産物である稲・麦・大豆について、消費者および実需者ニーズにあった品種を育成し、安定生産技術を開発する。</p> <p>② 安定生産が図れる茶園の樹高管理技術の開発 2,132</p> <p>担い手の規模拡大に対応した生産技術として、安定した収量が得られる樹高管理技術と老朽化した茶園を有効活用できる更新技術を開発する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【畜産課】</p> <p>肉用牛振興対策費</p>	<p>46,104 (75,390)</p> <p>諸 549</p> <p>⊖ 45,555</p>	<p>肉用牛の生産基盤の拡充を図るとともに、牛肉の品質向上と安定供給を促進し肉用牛経営の維持・安定を図る。</p> <p>1 肉用牛経営安定対策事業(1団体) 18,960</p> <p>肥育経営安定基金の造成に対する生産者積立金の一部を助成する。</p> <p>2 “活力ある”「近江牛」等生産流通対策事業 4,200</p> <p>肥育素牛の導入に要する経費の一部を助成し、「近江牛」の生産基盤の拡大を図る。</p> <p>3 「近江牛」等安定出荷促進事業 11,109</p> <p>滋賀食肉市場に上場した「近江牛」等に対して、上場奨励金の交付により、市場取引による公正な価格形成を促し「近江牛」等の安定的な生産および供給を目指すとともに、豚についても奨励金を交付し、県内産の安定的な生産を目指す。</p> <p>4 滋賀県産牛肉の放射性物質検査事業 4,994</p> <p>滋賀県産牛肉に対する放射性物質検査を実施し、消費者の県産牛肉に対する信頼を確保するとともに、農家経営の安定化を図る。</p> <p><b>重</b>5 三方よし「近江牛」ブランド力強化推進事業 5,502</p> <p>繁殖肥育一貫経営の推進により、「近江牛」の生産基盤を強化するとともに、販売戦略の構築等によりブランド力の向上を図り、「近江牛」ブランドの全国的な広がりを目指す。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>食肉流通機構整備推進費</p> <p>繰 3,390</p> <p>諸 350,000</p> <p>⊖ 279,566</p>	<p>632,956 (549,414)</p>	<p>1 食肉流通機構整備推進事業 632,956</p> <p>衛生的・効率的な食肉の生産流通施設である滋賀食肉センターの円滑な運営が図られるよう業務運営主体等の取組を支援することで、消費者に対し安全で安心な食肉を安定的に供給するとともに、「近江牛」をはじめとする本県畜産の振興を図る。</p> <p>(1) 食肉公社施設整備資金借入償還金等補助金 218,401</p> <p>(2) “安全・安心”しがの畜産物流通促進事業費補助金 8,800</p> <p>(3) 滋賀食肉センター基盤維持対策事業補助金 18,321</p> <p>(4) 滋賀食肉センターアセットマネジメント緊急支援事業補助金 33,000</p> <p>(5) 食肉市場経営円滑化資金貸付金 350,000</p>
<p>自給飼料生産総合振興対策費</p> <p>国 15,480</p> <p>⊖ 3,394</p>	<p>18,874 (3,823)</p>	<p>飼料自給率の向上を図るため、耕畜連携による飼料作物の生産拡大を促進する。</p> <p>1 飼料自給率向上対策事業 17,537</p> <p>(1) エサも地産地消推進事業費補助金 540 飼料用稲を給与して生産した畜産物に対する理解醸成のための活動や消費拡大活動に対し経費を助成する。</p> <p>(2) 耕畜連携整備強化事業費補助金 15,480 耕畜連携により、地域全体の収益性の向上を図るための取組に必要な家畜管理施設の整備に対して助成する。</p>
<p>【家畜保健衛生所】</p> <p>家畜防疫費</p> <p>国 6,245</p> <p>使 1,913</p> <p>⊖ 1,485</p>	<p>9,643 (11,727)</p>	<p>家畜伝染病の発生予防、家畜疾病の病性鑑定および畜産農家への衛生指導を実施し、家畜の生産性の向上と畜産物の安全性の確保を図る。</p> <p>1 口蹄疫等悪性伝染病防疫対策事業 1,875</p> <p>口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えた危機管理体制を強化し、早期診断・まん延防止を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
【畜産技術振興センター】  運営費	105,971 (48,093)  財 10,830  起 32,800  〇 62,341	1 畜産技術振興センター運営事業 62,000  積雪により倒壊した家畜ふん尿処理施設の建設および老朽化した備品の更新を行う。
育成牧場運営費	49,629 (44,218)  財 46,600  〇 3,029	1 高品質近江牛づくり推進事業 41,359  畜産技術振興センターで生産した高品質の雌子牛を農家へ譲渡することにより、育成牧場での優良繁殖雌牛の増頭整備と効率的な改良を図る。
試験研究調査費	17,989 (16,460)  財 15,289  諸 2,700	環境との調和を図りつつ、安全安心で高品質な畜産物を安定的に消費者に届けるため、生産現場に直結する実用的な技術開発や家畜等の改良を推進する。  1 水田由来自給飼料資源乳用牛給与技術の開発 3,976  2 水田由来自給飼料資源肉用牛飼料調製・給与技術の開発 5,822  3 水田由来自給飼料資源生稲わらサイレージ調製技術の確立 541  ④ 4 地域資源を活用した黒毛和種繁殖牛の栄養制御による分娩間隔の短縮 2,500  ④ 5 近江牛の生産性の効率化に関する研究 4,950



単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
【水産課】		
水産基盤整備事業費	427,961 (468,350)	1 水産基盤整備事業 367,250  在来魚貝類の産卵繁殖場を回復させるため、ヨシ帯および砂地の造成を行い、水産資源の増大を図る。 ・琵琶湖Ⅱ期地区（湖西工区） ヨシ帯造成：1.3ha ・琵琶湖Ⅱ期地区（下笠沖工区） 砂地造成：4.0ha
国	235,110	
繰	6,875	
起	168,500	
○	17,476	2 漁港漁村対策事業 55,000  近江八幡市が行う沖之島漁港の防災対策にかかる施設整備に対して支援する。
流通対策費	5,135 (1,669)	① 1 「しがの水産物」流通拡大対策事業 700  養殖ビワマスのイメージアップ活動や、生産者が開催する直売会による消費促進活動に対して支援する。
繰	4,135	
○	1,000	① 2 「琵琶湖八珍」ブランド化事業 4,135  H25に安土城考古博物館が提案した「琵琶湖八珍」の観光資源としての価値の構築を目指し、飲食店、旅館など事業者による活用の促進と、観光客や消費者への利用訴求を展開する。
水産有害生物対策事業費	78,195 (90,585)	1 有害外来魚ゼロ作戦事業 62,320  外来魚ゼロを目指し、捕獲駆除や繁殖抑制を中心に、総合的な事業を展開する。
国	13,300	
○	64,895	(1) 外来魚駆除促進対策事業費補助金 44,650 外来魚捕獲にかかる経費を助成する。 駆除量：235トン  (2) 外来魚回収処理事業費補助金 7,120 捕獲された外来魚の回収と有効利用にかかる経費を助成する。
		① (3) 外来魚産卵期集中捕獲事業 9,350 南湖や西の湖において、電気ショックカーポートによりオオクチバス親魚を集中的に捕獲するとともに、その効果調査を実施する。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>2 カワウ漁業被害防止対策事業 15,875</p> <p>漁業被害軽減のため、漁場や営巣地において被害防除対策を実施する。</p> <p>(1) カワウ被害防除対策事業費補助金 2,489 漁場等における花火による追い払い、銃器による駆除および防鳥糸設置による被害防除にかかる経費を助成する。</p> <p>(2) カワウ営巣地対策事業費 13,386 カワウ生息数を低減するため、営巣地での銃器駆除を実施する。</p>
<p>多様で豊かな湖づくり 推進事業費</p> <p>国 760</p> <p>諸 7,713</p> <p>⊖ 52,449</p>	<p>60,922 (64,600)</p>	<p>1 多様で豊かな湖づくり推進事業費 54,222</p> <p>(1) ニゴロブナ栽培漁業推進事業 13,488 栽培漁業の中核的魚種であるニゴロブナ種苗を生産放流するとともに、放流効果を調査する。 20mm サイズ種苗：600万尾 120mm サイズ種苗：60万尾</p> <p>(2) 多様な水産資源維持対策事業 6,257 琵琶湖固有種であるビワマスや、ウナギの種苗放流に対して助成する。 ビワマス種苗：70万尾 ウナギ種苗：1,000kg</p> <p>(3) アユ等水産資源維持保全事業 32,977 ①人工河川管理運用事業 30,852 産卵用人工河川を稼働し、効果的にふ化したアユを琵琶湖に流下させ、アユ資源の安定維持を図る。 養成親魚：8トン 天然親魚産卵繁殖対策：4トン</p> <p>(4) セタシジミ親貝放流技術開発事業 1,500 セタシジミの親貝を放流することによる資源造成技術を開発する。</p> <p>重 2 赤野井湾の在来魚復活事業 6,700</p> <p>内湖的環境である赤野井湾において、外来魚の集中駆除とニゴロブナ等の種苗放流を実施し、これら取組の効果を評価する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
河川漁業振興費	4,150 (3,600) ⊖ 4,150	<p>①重 1 魅力ある河川漁業推進事業 1,150</p> <p>河川漁業の振興のため、魅力ある河川漁場づくりと遊漁者の増加に向けた取組を実施する。</p> <p>(1)河川の魅力向上検討調査事業 550 アンケートによる遊漁者ニーズの把握や振興策の検討。</p> <p>(2)河川の楽しい機能体験事業 600 釣り教室、魚ふれあい体験学習、釣りガイドの配置に対する助成。</p>
水産業改良普及事業費	2,687 (2,383) 国 1,000 ⊖ 1,687	<p>1 漁師と一緒に琵琶湖の恵みを食べようプロジェクト事業 1,687</p> <p>青年漁業者の指導による体験漁業や調理実習、青年漁業者が自ら企画したレシピ本の配布などを通し、消費拡大や販売技術の向上を図り、水産業の持続的発展を図る。</p>
ホンモロコ資源緊急回復対策事業費	17,040 (16,800) 諸 4,260 ⊖ 12,780	<p>1 ホンモロコ資源緊急回復対策事業 17,040</p> <p>厳しい資源状況にあるホンモロコを回復させるため、水田を活用した効率的な稚魚の生産放流により、緊急的な資源回復を図る。</p>
琵琶湖固有種ワタカで学ぶ南湖再生事業費	3,800 (4,700) 緑 3,800	<p>1 琵琶湖固有種ワタカで学ぶ南湖再生事業 3,800</p> <p>水草を食べるワタカを南湖へ放流し、漁場の改善を図るとともに、県民参加型の環境学習と放流体験事業を行う。</p>
取り戻そう！南湖のホンモロコ復活プロジェクト事業費	15,700 (15,700) ⊖ 15,700	<p>①重 1 取り戻そう！南湖のホンモロコ復活プロジェクト 15,700</p> <p>南湖において水草を刈り取り、生息環境の改善および魚の移動経路の回復を図るとともに、種苗放流を実施してホンモロコ資源の増産を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
<p>【水産試験場】</p> <p>試験研究調査費</p>	<p>28,903 (17,183)</p> <p>国 6,465</p> <p>諸 1,750</p> <p>○ 20,688</p>	<p>水産行政が直面する重要課題の中で、特に技術的解明が急がれる事項について、重点的かつ積極的に調査研究を行う。</p> <p>① 琵琶湖の水産生物生産力評価に関する研究 3,000</p> <p>琵琶湖環境研究推進機構の「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究」の一環として水産資源学的手法により主要魚介類の資源量を推定するとともに、飼育実験により餌生物と水産資源との関係を明らかにし、琵琶湖の水産生物生産力を総合的に評価する。</p> <p>2 アユ資源動向予測調査研究 5,055</p> <p>アユ資源を変動させる要因を把握するとともに、迅速で精度の高い資源の予測技術を開発することにより早期の対策を図る試験研究を行う。</p> <p>③ セタシジミ資源の回復・向上試験事業 2,900</p> <p>シジミ漁場にポールなどの構造物を設置し、好適な生息環境を造成することにより琵琶湖の生産力を利用した資源増大手法の開発を行う。</p> <p>④ 新たな外来魚の拡散防止および効率的駆除技術開発研究 3,500</p> <p>特定外来生物に指定され、今後悪影響が心配されるチャネルキャットフィッシュとコクチバスの両外来魚に対して、生息状況の把握や効率的な駆除技術の開発を行い、漁業者が継続的に駆除できるよう駆除マニュアルを作成する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明																																							
【耕地課 ・農村振興課】  土地改良公共事業    国  分  繰  諸  起  〇	5,024,739 (4,565,340)	農業生産基盤、農村生活環境基盤の整備事業および農地、農業用施設の防災事業。																																							
	2,898,191	補助公共事業																																							
	781,543	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営かんがい排水事業</td> <td>21</td> <td>2,407,086</td> </tr> <tr> <td>県営経営体育成基盤整備事業</td> <td>9</td> <td>440,066</td> </tr> <tr> <td>県営農道整備事業</td> <td>2</td> <td>40,005</td> </tr> <tr> <td>県営中山間地域総合整備事業</td> <td>1</td> <td>53,830</td> </tr> <tr> <td>県営みずすまし事業</td> <td>2</td> <td>112,513</td> </tr> <tr> <td>団体営土地改良事業</td> <td>28</td> <td>266,877</td> </tr> <tr> <td>県営農村振興総合整備事業</td> <td>2</td> <td>106,700</td> </tr> <tr> <td>県営農村地域再生可能エネルギー施設整備事業</td> <td>6</td> <td>241,500</td> </tr> <tr> <td>団体営農村整備事業</td> <td>5</td> <td>81,567</td> </tr> <tr> <td>県営農地防災事業</td> <td>15</td> <td>864,225</td> </tr> <tr> <td>団体営農地防災事業</td> <td>21</td> <td>352,801</td> </tr> <tr> <td>県営地すべり防止対策事業</td> <td>2</td> <td>48,500</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	箇所数	予算額	県営かんがい排水事業	21	2,407,086	県営経営体育成基盤整備事業	9	440,066	県営農道整備事業	2	40,005	県営中山間地域総合整備事業	1	53,830	県営みずすまし事業	2	112,513	団体営土地改良事業	28	266,877	県営農村振興総合整備事業	2	106,700	県営農村地域再生可能エネルギー施設整備事業	6	241,500	団体営農村整備事業	5	81,567	県営農地防災事業	15	864,225	団体営農地防災事業	21	352,801	県営地すべり防止対策事業	2	48,500
	事業名	箇所数	予算額																																						
	県営かんがい排水事業	21	2,407,086																																						
	県営経営体育成基盤整備事業	9	440,066																																						
	県営農道整備事業	2	40,005																																						
	県営中山間地域総合整備事業	1	53,830																																						
	県営みずすまし事業	2	112,513																																						
	団体営土地改良事業	28	266,877																																						
	県営農村振興総合整備事業	2	106,700																																						
	県営農村地域再生可能エネルギー施設整備事業	6	241,500																																						
	団体営農村整備事業	5	81,567																																						
	県営農地防災事業	15	864,225																																						
	団体営農地防災事業	21	352,801																																						
県営地すべり防止対策事業	2	48,500																																							
16,300																																									
4,452																																									
1,138,100																																									
186,153																																									

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
中山間地域等直接支払交付金	192,223 (176,084)  国 112,563  〇 79,660	1 中山間地域等直接支払交付金 188,138  中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、農業・農村の多面的機能を確保する観点から、農業生産活動を行う農業者に対し、直接支払を実施する。
都市農村交流対策事業費	2,993 (5,178)  国 2,500  財 278  繰 215	1 都市農村交流対策事業費 2,993  都市農村交流に取り組んでいる地域に対して、事業効果を高めるための助言等の支援を行うとともに、農村地域の魅力を発信する。
アセットマネジメント推進対策費	50,730 (52,656)  国 10,000  〇 40,730	1 アセットマネジメント推進対策費 43,593  (1) 水土保持強化対策事業費補助金 27,423 アセットマネジメントの取組強化に向けた土地改良施設の診断・管理指導や、管理に関する苦情・紛争の調停等に対する指導などに係る助成を行う。  (2) 農業水利施設アセットマネジメント推進事業費補助金 16,170 農業水利施設アセットマネジメントの円滑な実施を図るため、アセットマネジメント推進体制強化やデータベース保守管理業務に対して支援する。  ② ④ 2 農業水利施設の戦略的保全管理促進事業 5,200 農業水利施設の戦略的な保全管理を促進するため、危機管理手引きの作成および電子化システムの開発、アセットマネジメントの啓発資料の作成、農地を集約化された地域の用水量調査を行う。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
土地改良施設管理事業費	478,266 (456,558)  国 233,103  ⊖ 245,163	1 国営造成施設管理体制整備促進事業費 209,745  国営およびこれと一体的に県営で造成された農業水利施設において、多面的機能の発揮、環境への配慮および安全管理の強化等に対応した管理体制の整備を促進する取組に対し支援する。  2 基幹水利施設管理事業費補助金 158,563  国営事業で造成された一定規模以上の基幹的な農業水利施設のうち、市町が管理する施設の維持管理の一部を助成する。  ③ 土地改良区緊急支援事業費補助金 23,066  近年の社会情勢の変化や施設の老朽化の進行に伴う施設管理費の増高、さらには米価の下落や1等米比率の低迷等は、土地改良区の運営を圧迫し、本県水田農業に大きな影響を及ぼすため、土地改良区の運営経費に対して緊急支援を行う。
ふるさと・水と土保全対策費	5,339 (5,260)  財 1,940  寄 100  繰 3,299	1 ふるさと・水と土保全対策費 1,611  多様な住民の共同による地域の魅力を高める活動を支援し、農村地域力の向上を通じた誇りの持てるふるさとづくりと農村の活性化を図る。  2 棚田地域の総合保全対策費 3,128  豊かな自然環境を有する棚田地域を保全するため、都市のボランティアと棚田地域とのネットワークを構築し、住民主体による継続的な棚田保全活動を推進する。
びわこ流域田圃水循環推進事業費	7,300 (6,880)  ⊖ 7,300	1 流域田圃水循環支援事業費 6,300  農業排水を再利用する循環かんがい施設等の機能をより高度に活用する事業主体に対して、掛かり増し経費を支援する。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
みずすまし構想推進 事業費	3,624 (3,909)  繰 2,800 ⊖ 824	1 豊かな生きものを育む水田づくり推進事業費 2,800  「魚のゆりかご水田プロジェクト」を含む、「豊かな生きものを育む水田づくり」の取組拡大を目指して、新規活動組織の立ち上げ支援や、魚のゆりかご水田等の持続的な取組に向けた支援を行う。
農業経営高度化支援 事業費	44,096 (27,407)  国 29,585 ⊖ 14,511	1 経営体育成基盤整備事業費（促進費） 44,096  生産基盤の整備と密接な連携のもと、担い手へ質の高い農地の集積を推進するとともに、生産基盤整備事業地区の集積実績に応じて受益者に対して助成する。
国営土地改良事業費 負担金	236,212 (227,422)  起 159,400 ⊖ 76,812	国営土地改良事業の施行に伴う、県の負担金を国に納付する。
世代をつなぐ農村ま るごと保全事業費	1,175,146 (394,996)  国 801,064 ⊖ 374,082	1 世代をつなぐ農村まるごと保全向上活動支援交付金 1,122,246  地域共同で行う農地・水路等の日常管理と農村環境を保全する活動および多面的機能の増進を図る活動、さらには施設の長寿命化を図る取組等に対して支援を行い、農村地域力の向上を図る。  2 世代をつなぐ農村まるごと保全向上活動推進交付金 52,900  上記1の事業を適正かつ円滑に実施するため、市町等に対して支援する。
大規模土地改良事業 計画調査費	3,075 (2,994)  ⊖ 3,075	1 大規模土地改良事業計画調査費 3,075  県営規模で実施を予定している土地改良事業の計画調査に対し助成する。